

| 番号  | 氏名     | 抱負  |
|-----|--------|---|
| 191 | 中村 泰彦  | 平成29・30年度代議員として立候補いたします。私はこれまで長年にわたり九州支部理事を務めてきて、学術活動や論文化の推進を行ってきました。また第41回日本放射線技術学会秋季学術大会実行委員長として学会本部の活動も経験いたしました。これらの経験を生かして九州支部会員の活性化と学会活動への反映に努力したいと思います。   |
| 192 | 中屋 良宏  |   |
| 193 | 南部 秀和  | 私は、10年前より近畿支部理事、プログラム委員として支部と本部事業に携わって参りました。支部事業では現在副支部長を、プログラム委員では、放射線治療分野の一般研究発表の審査を通じて最先端の研究をサポートしています。学会運営は方向を見誤らないようバランスのよいものでなければならぬと常日頃考えています。引き続き代議員として学会の動向を注視し、学会内部や外部の情報を融合し、学会の発展に尽力する所存です。 |
| 194 | 西池 成章  |   |
| 195 | 錦 成郎   | 最近では財務担当理事として学会事業を支えて参りましたが、昨年度から副代表理事として会員の皆さまとお目にかかる機会が増えました。我々の学会は国際化をキーワードに、さらに開かれた学会として躍進しようとしています。放射線技術学をキーワードに、世界との交流だけでなく関連する学問領域との関わりをさらに深めて、学際的な発展の礎をしっかりと据える必要があります。全力で取組む所存ですのでよろしくお願い致します。 |
| 196 | 西嶋 康二郎 | 現在、公益社団法人日本放射線技術学会において九州地域の代議員数が少ない。これでは本部の意向を広く地方へ浸透させるという点で困難が生じる。そこで私が代議員として当選した際には、九州地域の会員に技術学会の意向をお伝えすることに力を入れていきたい。また地方の意見を本部へ反映して頂く為にも努力したい。   |
| 197 | 西出 裕子  | 本学会は、放射線技術学に関連する研究の推進と論文化を目指して活動しています。教育委員になって4年目、理事・表彰委員長になって2年目になりますが、研究につながる教育プログラムの企画やサポート、研究に対する奨励賞の授与などを行ってきました。今後も会員の研究活動に生かしてもらえるような企画を推進していきたいと考えています。   |
| 198 | 西原 貞光  | 科学的な面から医学物理学を探究するとともに、倫理面も交えて放射線技術学を実践することが私の専門です。診療放射線技師を養成する機関の教員として、体系化された放射線技術学を学生に伝えていくと同時に、国民に対して放射線診断の有用性を発信し続けることが公益社団法人の務めだと信じています。  |
| 199 | 西丸 英治  | 現在、JSRTでは学術大会の国際化が進んでいます。このことは日本の研究成果を世界に発信するために非常に重要なことで、若い会員の方々も多くチャレンジされています。しかしながら、研究内容を見てみると内容やその方法に未熟さを感じることもしばしば経験します。私が現在まで行ってきた研究活動の経験を少しでも会員の皆様のお役に立てられるよう代議員に立候補させて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。  |
| 200 | 西村 圭弘  | 核医学部会にて部会誌の編集、学術企画を担当しています。また、4月から大学教員として学生の教育・研究に従事しています。今までの臨床・教育経験から、将来を担う若い技師への教育活動の重要性を感じています。日本放射線技術学会での活動として教育活動の充実、特に若い技師、これから社会に出る学生の学会での教育セッションの充実を推進したいと考えています。                              |